

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 45 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院
産科 婦人科

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2003年12月5日(金)

発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよさ(45)

腎 じん

Ⅲ



十一月は暖かい日が続きましたが、今月に入ってだんだんと寒さがこたえるようになってきました。クリスマスイルミネーション、シクラメン、コンサートが似合う季節です。くるみ割り人形、パイプをくわえたバイエルンの人形を例年の如く、玄関、廊下、書斎、居間などに飾り、その表情や色彩豊かなコスチュームを楽しむこの頃です。

一〇月、学会で和歌山を訪れ、番所庭園(和歌浦)からの夕日に感動しました。二つの小さな島の間で、太陽が少しずつ沈み、金色の光で海や山を染めながらついに見えなくなる瞬間までわずか十五分ほどでした。

今月は、腎です。

腎は、成長、発育、生殖、骨や歯の形成、呼吸、水分代謝、思考力(判断力、集中力)に関

係し、腎が衰えてくると、ボケ、インポテンツ、排尿障害、難聴、腰痛・・・といった老化現象が見られるようになります。ですから、常に、考え、記憶するようにに頭脳を働かせ、下半身が弱らないように、腹筋体操、散歩、



12月のイルミネーション

咀嚼(よくかむ)を心がける事です。

では、実例を挙げましょう。

四七歳女性、高血圧(一八〇／一一〇)、不眠、肩こり、便秘(六日に一度)、を訴え来院。顔は両頬が少し赤い。お腹は軟らかいが、心下部と右肋骨下部に抵抗圧痛。脈は弦、沈。舌は暗紅色、薄い黄苔、舌下静脈の怒張。そこで、釣藤散+釣藤鉤+大黄+サフランを処方。夕食時間を早くし、塩分と糖分を控え、できるだけ歩くように指導。二ヶ月後、血圧(一六〇／一〇〇)、肩こり、便秘、不眠が改善。六ヶ月後の血圧は一四〇／九〇。二年後の現在も服用中。

五六歳女性、不眠、便秘、背痛、肩こりを訴えて来院。顔は赤く血色がよい。お腹は充実し、両側季肋部と両側臍傍に抵抗、心下部に圧痛、脈は太く、速い。舌は鮮紅色、黄苔。そこで、大柴胡湯+通導散+サフランを処方。二週間後、便秘、背痛、肩こりが改善し、熟睡でき始めた。三ヶ月後、睡眠剤を飲まなくてもよい日ができた。六ヶ月後、時々





睡眠剤を服用。漢方薬を続けていると安心と継続中。

二七歳女性、しもやけ、月経痛足の冷え、便秘、頭痛で来院。

幼少からしもやけで悩まされている。外出したり、水を使うと

手先が白くなる。一〇月末には手や足にしもやけ。顔色は黄褐色、

腹力は軟弱、心下部と右肋骨下部に軽い抵抗、臍上悸、両側臍

傍に圧痛、臍下は軟弱で膨満。

脈は細、遅い。舌は淡紅色、薄白苔。そこで、当帰四逆加呉茱

萸生姜湯＋附子＋大黃を処方。

一ヶ月後、なんとなく手足が温まってきた。三ヶ月後、便通、

頭痛、下腹部膨満がなくなり、しもやけも増えなくなった。一

年間後、例年よりしもやけが少

ない。3年後の現在も継続中だが、

しもやけはかなり減っている。

二七歳女性、産後の疲労（産後五〇日）、夕方の熱感、めまい、

肌あれ、食欲不振で来院。顔は青白く、肌が荒れている。お腹

は軟弱、心下部でジャブジャブと言う音、臍上と臍傍に動悸、

脈は細く、遅い。舌は淡白色、

薄い黄苔、両側縁の歯根、舌下

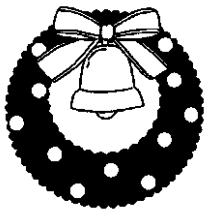
静脈の軽度怒張。十全大補湯＋附子を処方。二週間後、疲労感が減り、夕方の熱感もなくなった。

六ヶ月後、症状はなくなり廃業。

訪問診療（在宅）を受けておられるご家庭の患者様は幸せです。

その方が「そこにいてくれるだけでいい」「家族の一員として家にいて欲しい」と思われているのでしよう。家族の方々の協力、思いやりがあり、ご自分の療養する部屋が確保されなければ介護は続きません。また、色々な人たち（医師、看護師、ヘルパー、事務員など）と触れ合い、入浴サービス、食事、清掃（部屋、ふとん・）などが生きがい、楽しみになっているようです。

できるだけご本人の希望に沿った生活ができるようにお手伝いしたいと思っています。



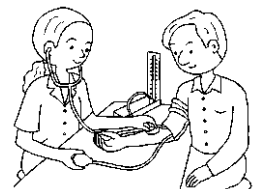
〔院長〕

次回、更年期障害についてです。



高 血 圧

がっしりタイプ、肥満、のぼせ、いらいら、便秘、不眠、動悸などの症状の方が大部分ですが、胃腸が弱く、冷え性、虚弱、肌が荒れやすいタイプもおられます。それぞれのタイプに合った漢方薬を服用して体調を調べてください。



不 眠

睡眠剤に相当する漢方薬はありません。肝（怒り、腹立ち）、心（心配、不安）、腎（恐れ、おどおど感）、脾（抑うつ、あせり）、肺（悲しみ、憂うつ）の不調和が原因と考えます。生活、仕事、家族や知人関係、季節（気温、湿度・）なども関係します。



し も や け

手、足、耳、鼻にできやすく、たる柿タイプ（赤紫に腫脹）と多型滲出性紅斑タイプ（赤い環状）があります。ぬらさないよう冷さないようにすることが大切です。当院では、漢方薬、軟膏、スーパーライザー（近赤外線）などで治療をしています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、尋麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、陰分泌、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

皮内針

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は3.0mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク ・メシマコブ
- ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～72回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。費用は1割の負担になります。介護保険に制約されません。

外来休診日

1月1日(木)～4日(日)は外来を休診にします。
お産などの急患は、この限りではありません。
12月31日(水)の夜診は休診にします。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◆助産師相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：12月10日、1月9日、2月27日(金)

対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

後期-母親教室

日時：12月17日、1月7日、21日、2月4日、18日(休)

対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

母親教室ティータイム

クリスマスケーキ(Christmas cake)は「キリストの生誕を祝い大きな丸太を燃やし続けた」という話から生まれたそうです。フランスのケーキ“ブッシュ・ド・ノエル”をどうぞ。レーリュッケン(Rehrücken)はレーリュッケン型で焼いたおしゃれなバターケーキです。今年のクリスマスはどんな日になるでしょう。楽しみですね。



産後の疲労倦怠

お産で気力も体力も使い、食欲低下、不眠、排尿困難、便秘、腰痛、手のしびれ、下肢痛、乳汁分泌不良、子宮復古不全、動悸、息切れ・・・に悩まされる方もおられます。家族の協力、休養、不安解消(分からないことを質問)などとともに、体に合った漢方薬を服用すれば早くもとの体と心に戻れます。



当院で分娩を予定しておられる方

妊娠34週までに受付で予約して下さい。
 ご予約には分娩予約カードと予約金5万円が必要です。
 予約された方に、母と子のてびきをお渡します。

立会い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
 婦人科 産科 漢方 友達に教える 外来診療の
 ご案内などを掲載 (i-m-o-d-e対応)

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(症例多数、漢方について)
 産婦人科のページ 当院の案内、当院への交通
 周辺の観光地など掲載。

助産師相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
 メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。